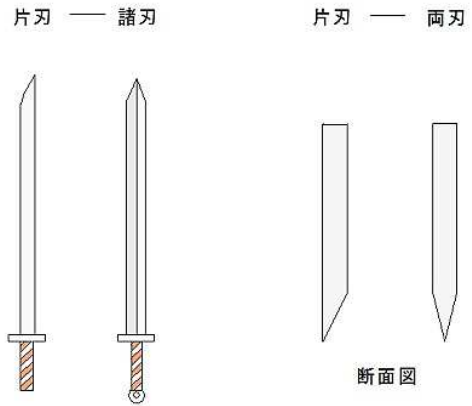


## 052 諸刃の剣・両刃の剣

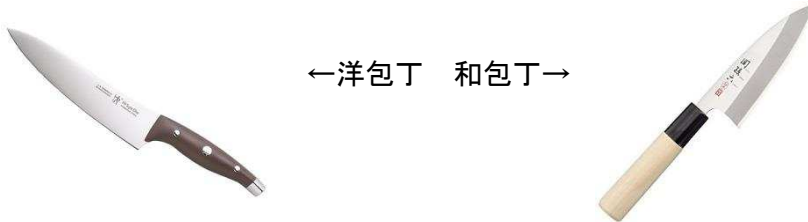
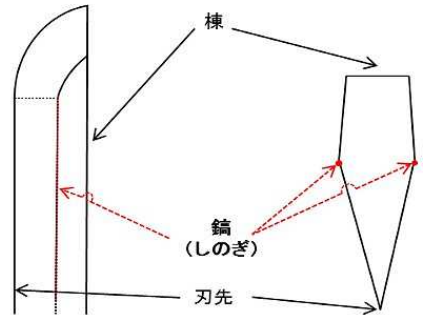
古代ローマの剣「グラディウス」、ドイツの「ツヴァイ・ヘンデル」



聖書では、「両刃」(6カ所)が使われているが、「諸刃」の方が・・・。

諸刃とは 鎧(しのぎ)を境に、刀身の両側に刃がついており、振り上げたときに自分を傷つける危険性のある剣などのことです。反対語は片刃であり、日本刀やカミソリなどが片刃です。

両刃とは 刃の両側に角度がついてあり、左右両側から研ぐ刃物のことです。反対語はやはり片刃です。一般的に、洋包丁は両刃、和包丁は片刃です。ですから、和包丁には右利き用と左利き用の区別があります。



←洋包丁 和包丁→

日本刀は、諸刃か片刃かの分類でいえば片刃、両刃か片刃かの分類でいえば両刃、となります。

参考1：双刃：武器の名称として双刃剣(そうじんけん)、双刃刀(そうじんと)のように使います。



参考2：双剣

双剣とは、両手に一本ずつ剣を持ち戦うスタイル。宮本武蔵の二天一流も双剣と言えます。

参考3：諸刃の剣(ことわざ)

一方では非常に役立つが、他方では大きな損害をもたらす危険もあるというたとえ。また、相手に打撃を与えるが、自分もそれと同等の打撃を受けるおそれがあるというたとえ。両方の縁に刃がついている剣は、人を斬ることもできるが一つ間違えれば自分自身も傷つけてしまう恐れがあることから。「両刃の剣」とも書き、「両刃」は「もろは」とも「りょうば」とも読む。